

第20回記念 日本認知症グループホーム全国大会での発表

2018年 9月 7日 ～ 8日 公益社団法人日本認知症グループホーム協会主催 第20回記念 日本認知症グループホーム全国大会「おまかせください！認知症グループホームに！！～地域包括ケアシステムで求められる認知症グループホームの役割～」に参加し、発表してきました！

発表演題 『当グループホームでのメディカルケアアロマ導入効果—考察』
～入居者・スタッフ” 関わり・温かさ” への Synergy～

発表者：○渡邊美香(GH 長) 1)

共同研究者：横山麻衣子(CW) 1) 林さよ子(CW) 1) 瀧嶋美奈子(CW) 1) 中山香織(CW) 1)
金山栄美(代表・Ns) 2) 森田裕治(RPT) 3)

今期、まりホーム内海で、認知症や看取りの周期にきていらっしゃる入居者の方へ、スタッフがアロマセラピーを提供出来る様に実施した事を発表しました。外部講師(金山栄美 ナーシングローズ代表)に来て頂き、施設内研修を開催し、数名の利用者へのトライアルを発表しました。司会者、フロアーからも多数意見をいただき、無事に発表を終える事ができました。

また、学会全体で、全国の様々な報告を聴く事もできました。利用者の想い・考え方を主軸に、1つのレクリエーション、行事ではなく、ホームでの当たり前の日常生活として取り組んでいる事例報告など様々な取り組みを観て・聴いて・感じる事ができました。帰りの新幹線の中で、同行したスタッフと、『グループホームの原点である、地域の中の“在宅”としての在り方・働き方』『ケアを日常生活の当たり前と感じ考える』これを五感で体一杯感じる事ができたね！明日から又頑張ろう～～と帰ってきました。

私達は、現在でも利用者の方々へ、ここのよさを活かした取り組みを行っていますが、更に、この沼隈・内海で、認知症の方々へのホームとして役割、この、内海で生活する一人の利用者、ホームとして、認知症になっても“その人らしい”生活が続けれるグループホームを目指していきたいと思います。

『当グループホームでの メディカルケアアロマ導入効果一考察』

～入居者・スタッフ”関わり・温かさ”へのSynergy～

○渡邊美香(GH長) 1)
横山麻衣子(CW) 1) 林さよ子(CW) 1) 瀧嶋美奈子(CW) 1)
中山香織(CW) 1)
金山栄美(代表・Ns) 2)
森田裕治(RPT) 3)

1) 社会福祉法人まり福祉会 まりホーム内海
2) NPO法人 Nursing-Rose
3) 社会医療法人社団 沼南会



1

1.はじめに

- 当ホームは開設14年目
- 入居者の加齢的变化、BPSD軽減を目指して、1対1でのケアをどのように行っていくべきか？
- 看取り対象者の段階的变化に、スタッフ・家族が、どのように関わるべきか？
- 今回、当ホームでメディカルケアアロマを導入した
- メディカルケアアロマ実施結果、若干の知見を報告



2.メディカルケアアロマ 導入目的

- 芳香効果による認知症状緩和
- リラクゼーション効果
- 緩和ケアでの実践効果



- スタッフ、家族と入居者とのコミュニケーション・ケア手段の獲得
- 認知症ケア、看取りでのスタッフ対応能力向上

3

3.メディカルケアアロマ経過

No.	時期	実施項目	主な実施内容
1	2017年 12月	・ GH職員のスキニシップと リラクゼーション効果目的 のハンドケア導入	・ 夜間不眠の入居者様を対象に就寝前ハンドケア 実施→効果が認められた事で次へのケアを考 える
2	2018年 4月	・ GHへのメディカルケア アロマ導入について家族会 での同意 ・ メディカルケアアロマ 事前研修 (委託先：Nursing-Rose)	・ (家族会での同意→導入準備等調整) ・ 対象 : GH全職員+興味のある他スタッフ (介護職員・看護師) ・ 内容 : 講座+実践
3	2018年 5月～	GH利用者への メディカルケアアロマ実施	①STEP1：対象利用者の選択 ②STEP2：実施内容決定 ③STEP3：利用者への事前評価 客観的評価：2項目(実施前後) ・ Barthel-Index ・ GBS尺度 主観的観察：利用者の反応等 ④STEP4：メディカルケアアロマ導入効果検証

4

4.メディカルケアアロマ事前研修

- 対象 : 5名(当GHケアスタッフ等)
- 日数 : 2日 4時間
- 研修内容: 講座+実技

■ 講座内容

アロマテラピーとは/アロマトリートメントとは/心がける事
基礎知識/精油の選び方・希釈法・保管の仕方他

■ 実技内容

ホールディング/エフルラージュ(軽擦法)/ニーディング(柔捏法)
フリクション

Nursing-Rose (代表: 金山栄美氏)



5

メディカルケアアロマ研修風景



5.対象者

対象者 : 6名/18名(2ユニット)
(CVAD1名(以下VD)Alz5名 内1名は看取り対象者)
男女比 : 男性1名、女性5名
平均年齢 : 90.0歳
平均要介護度 : 3.5

No.	性別	年齢	介護度	障害 自立度	認知 自立度
1	女性	97	4	C1	Ⅲa
2	女性	74	1	A1	Ⅲa
3	女性	92	4	A2	Ⅲb
4	女性	97	4	B2	Ⅲb
5	女性	85	3	A1	Ⅱb
6	男性	95	5	B1	Ⅱb

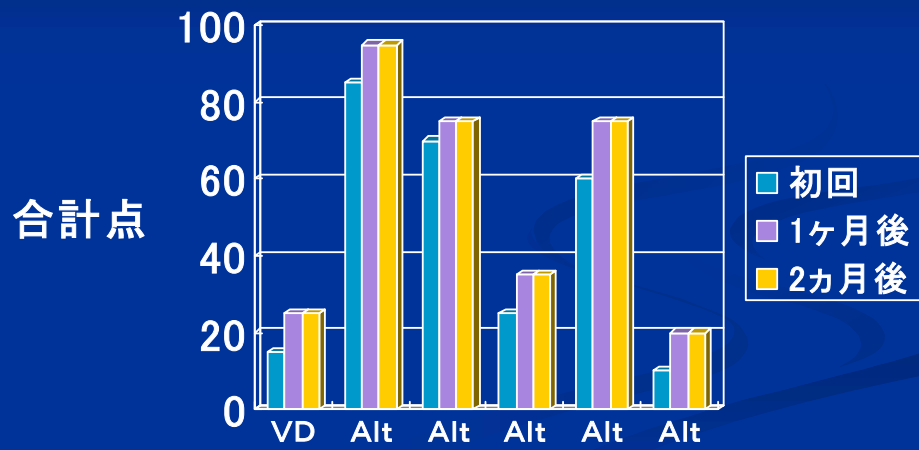
7

6.メディカルケアアロマ内容

項目	内容
実施回数	2回/日
実施時間	1人3分～5分
実施内容	ハンドトリートメント
使用オイル	ホホバオイル・オレンジスイート (1%濃度)

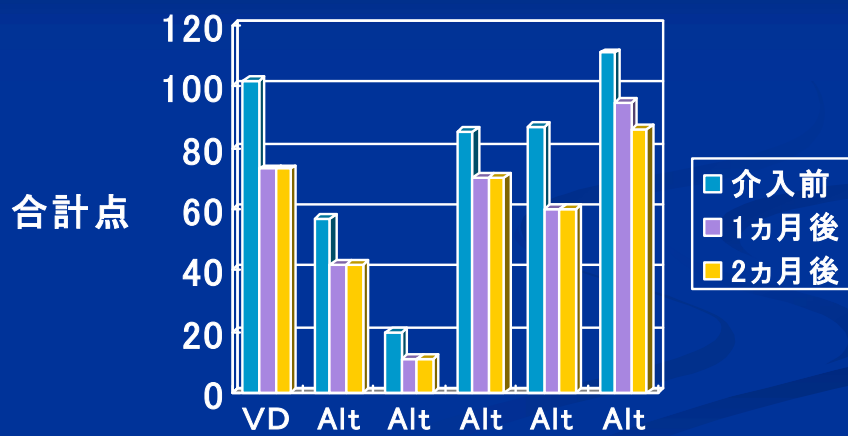
8

7.結果 Barthai-Index



9

GBS尺度 合計点



10

GBS尺度 詳細項目平均値



11

8.主観的評価結果 (スタッフ)

- 入浴拒否のあった利用者が、快く入浴
- 不眠傾向にあった方が
『よく寝れたわ〜』と安眠
- 利用者さんの表情が穏やかになった
- 痛み等の不定愁訴が減少
- 利用者が、『ありがとう』『暖かいなあ〜』など、穏やかな表情や、意欲のある様子が多くみられる様に変化

12

8.主観的評価結果

■ 管理者が気づいた利用者の変化

入居者様の変化

- ユニット全体の雰囲気明るくなった
- アロマ対象の利用者の表情・言動がおだやかになった
- アルツハイマー型認知症への知的機能効果が感じれた

スタッフの変化

- スタッフが利用者との“関わり”を積極的に実施
- TPOに応じ、具体的なメディカルケアアロマを用いケア実践

13

9.考察

■ 入居者様の変化について

- スキンシップによる“温かみ”の効果
- 香りによるリラクゼーション効果
- 失見当識、覚醒レベル等が改善する事で、安心感がまして、拒否・不定愁訴等が軽減したか？
“安心感” 全体的なリラクゼーション効果

■ スタッフの変化について

- 入居者様と関わる“キッカケ”
- スキンシップを図ることでの対象者・実施者の
“安心感” “温かさ”を感じれた

14



10.まとめ

- メディカルケアアロマ実施により、入居者6名(メディカルケアアロマ実施対象者)は、ホーム生活が穏やかになった。



【Synergy】

- ケアスタッフの入居者ケア意識・関わり全体的向上
- 家族等へスタッフがハンドトリートメントを伝える事で、家族と入居者とのコミュニケーションに広がりがあった。

15

11.今後について

- 入居者・家族へのメディカルケアアロマへの啓発・普及
- GHでの看取り対象者への積極的介入
- 認知症への学術的なメディカルケアアロマの効果検証の継続

16



ご清聴ありがとうございました

